

第3期四谷地区協議会会議録

分科会名	第1分科会	開催回	第11回
開催日	平成23年2月15日(火)		
出席者	区民	15名	職員 出張所職員2名
主な協議 について	○役員会報告		
	○テーマ別活動報告について		
	○来年度の活動について		
	1、テーマ別活動報告について		
	2、その他、地域関連情報・意見交換・新規活動案の提案等		

1、役員会(2月7日)報告

①協議会改選スケジュールについて※別紙参照

- ・公募募集 3月15日～4月26日
- ・各団体推薦依頼 3月10日(町会連合会開催日)～4月20日
- ・第3期協議会最終役員会 4月27日(水)開催
- ・全体会 5月16日(月)18:30～四谷地域センター11階
年度内に全体会での決議を必要とする議案がないので第3期、第4期合同全体会を開催することとした。

②第4期地区協議会活動及び予算案※別紙参照

※新时期協議会発足後新活動が提案・承認された場合は、分科会・役員会で協議の上流動的な対応をすることと決定した。

③他 仮称)学校応援団発足(案)について

地域の方(地区協議会委員)より四谷地域の学校支援を地域で財政・人的補助をする目的の団体を発足する旨の提案書が提出された。

→役員会意見……現段階での回答はできない、再度、提案内容を具体的にしたもの提示願いたい旨を返答することとした。

第1分科会意見

- 役員会では提案の目的は理解できるが、地域協働学校、育成会等との関わりあい方、資金の用途(具体的な予算案等)について整理されていない部分が指摘された。今後具体的な案が再度出されると思う。(補足:合同役員会へ提出されることが検討されている。)
- PTAの立場としては大変ありがたい話である。PTAだけで学校を支えるには人員が足りないと感じていた。また、スクールコーディネーターの立場も一定の(活動)ルールがあり、限界があると感じる。地域の先輩に手伝ってもらいながら学校を盛り上げて欲しい。

2、テーマ別活動報告について

①玉川上水

検討会(2月17日)に2名出席予定。

次回の会議で報告する。

②地域バス

四谷地域でのバス運行案は終息方向。

三月中旬準備会を開会予定。→結論が出されると考える。

③地域勉強会

次第 3 来年度の活動で詳しく説明

3、来年度の活動について

(下記案はリーダーより役員会に提出された内容の写しです)

第1分科会の平成23年度事業案

継続事業

① 四谷学(四谷を識る勉強会)

四谷中学で唱えている四谷学との連携

② 玉川上水の偲ぶ流の創出の実施計画

案内板の設置への提案 生息する動物の検討

③ お宝さがし実行委員会

5年目を迎える節目としてカラーの冊子を作成

テーマ別の地域お宝の拡充(既掲一風呂屋、文房具)

④ 観光ガイドの実行委員会の立ち上げとまち歩きの実施

※地域バス事業に関しては閉会の動きあり

新規事業

・地域交流の場づくり

地域の方々と子どもたちの参加を得て、四谷学の講演、観光ガイドのまち歩きなどと多面的に協同しながら

・地域の課題解決 ・話題性の高いもの

・子どもたちに難しい話をわかり易いように伝えること ・情報の提供(行政からの)

・住民・地域の自治のしくみのようなものを位置付けにちなんだ勉強会を協同開催する。

・年2回(8月、11月)を目途に開催する。

・毎回講師(地域の方、知識の有る方)を依頼する

リーダーによる補足説明

① 四谷学(四谷を識る勉強会)

四谷中学で唱えている四谷学との関係を深めると同時に小学生に向けた講座を企画する。

② 玉川上水の偲ぶ流の創出の実施計画について

生物生息の検討・・・蛍などが生息できる可能性を求め第1分科会で検討、推進していく。

③ お宝さがし実行委員会

5年目を迎える節目の活動を行う。→カラーの冊子を作成予定
テーマを決めて地域の「店」「職業」を探訪する活動をひろげる。

④ 観光ガイドの実行委員会の立ち上げ

- ・観光まちづくりをテーマ別報告に組み入れたい。
- ・第4期協議会発足後「観光まちづくり実行委員会」を立ち上げることが役員会で承認された。
- ・毎月1回まち歩き(公開ガイド研修)、その後1回振り返りの会(都合2回)を開催する。
- ・役割分担を決定したが、(役割を越え)互いに協力しながら活動していくこととした。

※3月26日に第1回のまち歩きを開催する。別途町会会員、協議会委員宛ての案内チラシを配布する。

意見

○(一部の)商店では観光に関して興味を持っていないように感じる。地図(商店街連合会で作成した)をもっと有効利用すべきではないかと感じる。

○事務局連絡

東京都観光まちづくりアドバイザーの派遣は今年度限り。(残数は5時間程度)

⑤ その他の活動

○地域交流の場づくり

子どもたちも参加できる交流の場を作る。

○地域の課題解決

○行政からの情報の提供

○地域の自治のしくみに関する勉強会を開催する。

- ・年2回(8月、11月)を目途に開催する。
- ・毎回講師(地域の方、知識の有る方)を依頼する。

意見交換

① お宝さがし活動について

- ・町会連合会では「お宝さがし発表会」のチラシを配布した時に目的がわからないとの意見もあった。応募していただいたものを(歴史を)もっと掘り起こしていくことが必要ではないかと思う。
- ・応募された一部のものは、「観光」で紹介できるのではないかと思う。
- ・内輪の話で自己満足的ではないかとの意見もあった。
- ・(活動の)実情を知らない人から見ればそのような意見もでるかと思う。協議会では地域活性化を目的に活動してきた。新宿区が推進してきた同様の事業は廃止となったと伺う。地域が自ら立ち上がったからこそ継続できた活動であると思う。
- ・(価値の)評価が大切なのではなく、活動に触発され出してみようとする(地域の活動に参加する)意識を持ってくださることや地域で目録冊子を出したり、お宝にまつわる話を語ってくださった内容を残していく(記録)ことが大切ではないか。
- ・活動に参加していない方に理解されるのはむずかしい……
- ・町会に協議会自体がまだ理解されていないのではないかと感じる。
- ・(協議会)設立当初より(町会の)評価は変わってきたと思う。すいぶん存在感が出てきた。

②提案全般に関する意見交換

質問:新規事業の地域の交流の場が勉強会というのは意味合いちがうのではないかな?

交流と勉強会との、違いを明確にしていけないといけないのではないかな?

勉強会は集まった人たちが話し合ったりするのが目的であり、協議会ではその勉強の手法を作っていく・・・例えばワークショップ少人数で考えていくなどを取り入れて、課題が出やすく活発意見が出やすいような流れを(計画)作り出し、一つの目的をはっきりさせていくことが必要ではないかな。

リーダー: 交流の場の意味合いは本来協議する場ということですが。行政情報も必要だが、協議する場づくり・・・伝達式になる可能性もあるが・・・たとえば、ワークショップ形式にして大人と子供の検討事項を紙に書きながら 楽しく課題を抽出して解決案を検討していければいいと思う。

意見:玉川上水に関する検討会でも働きかけることで協議会の意見を吸い上げてくれるようになった。問題定義を起すことが大切かと感じる。

意見:第1分科会でこんなにとくさんできるとは思えないかな?

リーダー: 観光ガイド実行委員会と一緒にやろうと思う

意見:それでも、観光で月2回 お宝で月1回 第1が月1回も(会議が)あるのにできるのかな?

リーダー: 観光に関する活動は実行委員会として動きだす。第1分科会委員が参加していればできるのではないかなと思うが・・・(具体的にはこれから協議、検討していきたいと方向性を提案している段階なので)。

意見:新規事業とは手法のことではないかな? 事業ではないかなと思うが?

意見:広範囲に活動を広げないでメインを決めていかないと散漫になるのではないかな? ポイントを決めて活動しないと混乱してしまう。

意見:やはり多すぎるのではないかな・・・?

リーダー: 観光(ガイド実行準備会)には新しい人が入ってくるので、実行は向こうに任せようと思う。

事務局:今のご発言のままですと、観光ガイド実行準備会に新しく入られた方々には、観光ガイド活動と目的を一致しない部分を感じられるのではないかと懸念します。誤解なきよう趣旨をリーダーから説明していただき、共通理解をお諮りください。

リーダー:了解しました。

意見:活動案について、主体はこちら(第1分科会)なのだから協力、協働を提案するような形でお願いするべきではないかな?

リーダー:自分たち(第1分科会)の得意とするところ、他の会の得意とするところを活かして、合同開催していければよいと考える。任せるのではなく協力をお願いする旨で提案する。

次回会議日程

お宝さがし実行委員会 (発表会リハーサル)

3月 1日(火)18時30分～ 四谷地域センター 12階多目的ルーム

第1分科会

3月15日(火)18時30分～ 四谷特別出張所会議室